

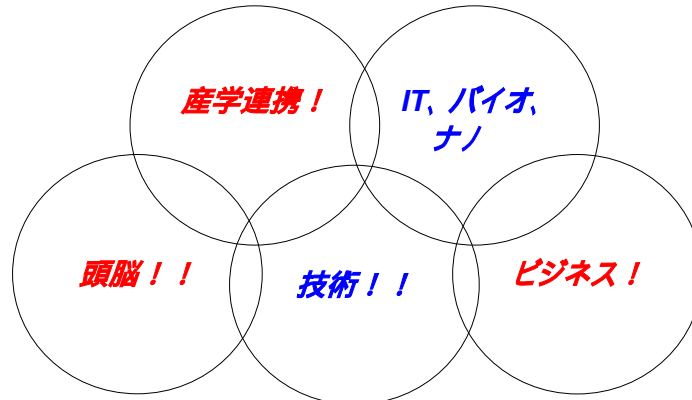
NEWPA



Keystone Innovation Zones (KIZ)

ペンシルベニア州内の大学の頭脳・知識に出会えるコミュニティー！

あなたの新しいビジネスチャンスがここに！



- ✚ ペンシルベニア州には数多くの大学が存在し、多くの学生が最良の教育を受け、能力、エネルギーそして、起業家精神を備えた人材を輩出しています。
- ✚ KIZ は大学や訓練機関の近くに「知識地域」を創り出し、人材や資源を集め、これらの地域をテクノロジー・インキュベーターと変身させることを目指しています。この地域ではリサーチや同輩も含め、事業家が必要とする資源、協力体制、ベンチャー・キャピタル、人材そして財源をすぐに、断絶することなく手に入れることができ、すでにその地域社会に存在している教育機関、地域社会の指導者たち、金融機関、企業、投資家、基金などの協力が得られるという利点を備えています。

■ KIZ に関する15の質問

Q1: Keystone Innovation Zone とは正確には何ですか？

A: Keystone Innovation Zone (KIZ)とは高等教育、大学、短大、専門学校が集まったいわゆる「特区」のことです。この地区は革新を推奨し、資源として教育機関、民間企業、企業に協力する機関、商業融資機関、(エンジェル・インベスターも含む)ベンチャー・キャピタル・ネットワーク、基金などと連携し起業機会を創り出すために設置されるものです。これらの機関や組織と提携してこそ Keystone Innovation Zone の存在価値があるのです。

Q2: どうしてペンシルベニア州は KIZ を設置するのですか？

A: 雇用率を高めることが州の将来に最も重要だと考えているからです。研究開発機関が当州には発達し、集中しているのですが、それが企業的にそして雇用率アップに直結していないために、若い専門職の人たち、良い人材が州外に流出しているのが現状です。そこで KIZ により「知識地域」を設置し、教育機関、経済開発機関、企業、資金源、地域社会の指導者たちと連

携させることにより、より早くそして効率よく支援と財源のネットワークができます。このペンシルベニアのアイディアは経済発展に効果的な良い結果をもたらす確かな方法だと考えています。

Q3: 何ヶ所くらいに KIZ は設置されますか？

A: その数には制限はありません。が、3 年以内に設置されなければいけないのです。

Q4: 州政府のどの部署が担当していますか？

A: 地域・経済開発省 (The Department of Community and Economic Development) です。

Q5: 各地の KIZ はだれが担当するのですか？

A: 各地の協力団体が KIZ コーディネーターを選ぶか、組織化し、運営やプログラム開発を行います。

Q6: KIZ はどのように形成されるのですか？

A: 前記のパートナーが目標、基準の設定、利用できる資源を探し見極めることまで、KIZ の企画から実行まで全てを管理します。

Q7: 地域社会が KIZ を設置したいと思う要素はなんですか？

A: KIZ を設置することにより、大学機関、研究機関が発達しているというペンシルベニアの利点を大いに活かし、新しいビジネス機会を生み出し、新しい企業が出来、雇用率が良くなります。KIZ 設置により経済的発展、企業活動が増え、経済的にも社会的にもその地域が大いなる恩恵にさずかることとなります。

Q8: KIZ は何に焦点を置くのですか？

A: 四つのことに焦点を絞ります。新しい会社の成長発展、または既存の会社の拡張など、事業の発展を図るための資金源、施設、技術的革新、そして人材です。KIZ は技術革新をサポートし、大学や研究機関で研究・開発されたもののテクノロジー・トランスファーを可能にし、研究開発から生まれた新しい製品やプロセスなどのテクノロジーを商業化します。KIZ は州の事業及びビジネス開発のための支援および奨励のためのプログラムを駆使し、既存の会社や起業しようとしている事業家に会社の設立や発展に必要なことを協力、支援するものです。

Q9: Keystone Innovation Zones と Keystone Opportunity Zones とつながりはあるのでしょうか？

A: 名前は似ていますが、全く違うものです。KOZ は税金控除などの恩典で経済的に荒廃した地域を改善するためにあります。KIZ プログラムは新しい会社の設立を支援し、操業し始めた、利益が上がらない間は州税を課税しないという点です。

Q10: いつ KIZ 認定申請を提出したらいいのでしょうか？

A: DCED はこのプログラムのガイドラインを2004年春までに纏め、発表する予定です。興味がある方は1-866-Go newPA に電話で問い合わせるか、www.newPA.com をご覧ください。

Q11: KIZ の認定申請のためのガイドラインはどのような事柄でしょうか？

A: ガイドラインは現在検討中ですが、2004年春には発表されることになっています。KIZ の認定申請のために、以下のことをする必要があります。

- 高等教育機関がある地域を確定し、その地域にKIZを設置することを提案する
- どのような事業及びビジネスの発展をターゲットにし、広範囲にわたる地域・経済開発を目的としたサービス提供を明確にする。

- 達成できる目標を定め、達成できる方法を確定する。
- 目標達成を段階別に基準設定する。
- 取得しうる資金源でプログラム予算を立てる。

この他のガイドライン及び詳細にわたる説明は追って発表されます。

Q12: KIZ コーディネーターは何をしますか？

A: Keystone Innovation Zone Partnership によって選ばれ、DCEDが認めた組織でKIZの活動を管理運営します。KIZ コーディネーターは5万ドルから25万ドルの助成金を運営費として受け取り、業務を遂行します。この助成金は毎年最低25%づつ削減され、民間の出資が助成金と同額であることが義務付けられます。

Q13: 税金控除はありますか？

A: KIZ プログラムの一部ですが、KIZ の会社に対して年間2500万ドル税金控除があります。この恩恵をうけるのは8年経っていない会社でKIZ パートナーシップが優先する産業に携わっていること、となっています。この恩典は2006年から有効となり、ガイドラインは今年発表されます。

Q14: KIZ のイノベーション助成金はなんですか？

A: KIZ プログラムの目標は大学、企業そして地域社会の連携によりペンシルベニアに新しい企業を創り出すことです。KIZ パートナーシップに参加している大学で行われる事業に役立つテクノロジー・トランスファー・プログラムを奨励するためにこれから3年間1000万ドルを助成金として授与するものです。

Q15: イノベーション助成金はいつから授与されますか？

A: 2004 - 2005年度のペンシルベニア州予算が承認され、助成金運営のガイドラインその他の資料が整えば、予定では2004年7月からです。

米国ペンシルベニア州政府地域振興・経済開発省
日本代表事務所
〒106-0032
東京都港区六本木3-16-14 KY ビル7F
c/o Sakamoto & Associates
Tel:03-3505-5107 Fax:03-5549-4127
Mail: info@pa-japan.org www.pa-japan.org

